

学部：看護学部

学科：看護学科

役職：教授

氏名：箕輪 千佳



最終学歴・学位等：

最終学歴：群馬大学大学院保健学研究科博士後期課程修了

学位：博士（保健学）

免許・資格：看護師免許、養護教諭一級免許、高等学校教諭二級免許（保健）（看護）、中学校教諭一級免許（保健）

所属学会等：日本看護教育学学会 日本看護科学学会

専門・研究領域

- ・基礎看護学
- ・看護ケアとしてのリラクゼーション法の効果検証
- ・看護研究倫理教材の作成、コンサルテーション
- ・看護学基礎教育における学生のジェンダーが関連する課題

主な職歴

昭和 59(1984)年 4 月～昭和 62(1987)年 7 月

山形大学医学部附属病院 看護師

平成 5(1993)年 7 月～平成 5 年 11 月、平成 7(1995)年 4 月～平成 8(1996)年 12 月

山形県 養護助教諭

平成 13(2001)年 9 月～平成 15(2003)年 3 月

長野県小諸看護専門学校設置準備室 専任教員

平成 15(2003)年 4 月～平成 19(2007)年 3 月

長野県小諸看護専門学校基礎看護学 専任教員

平成 19(2007)年 4 月～平成 20(2008)年 3 月

佐久大学設置準備室 教務主任

平成 20(2008)年 4 月～平成 29(2017)年 3 月

佐久大学看護学部看護学科基礎看護学 助教

平成 29(2017)年 4 月～令和 3(2021)年 3 月

高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科基礎国際看護学 准教授

高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科看護学専攻

令和 3(2021)年 4 月～現在に至る

上武大学看護学部看護学科基礎看護学 教授

担当授業科目

看護学概論（1 年前期、科目責任者）

看護技術論（1 年前期、科目責任者）

看護共通技術（1 年前期、科目責任者）

看護教育入門（1 年前期、科目分担者）

ヘルスアセスメント（1 年後期、科目分担者）

国際関係論（1～4 年前期、科目責任者）

国際看護論（3 年後期、科目責任者）

看護体験実習（1 年後期、科目分担者）

受持ち看護実習（2 年後期、科目分担者）

看護研究（4 年通年、科目責任者）

主な論文・著作

1. 大西香代子・中原純・箕輪千佳・有江文栄：看護学研究者の倫理審査に対する評価及び望ましい在り方に関する意識についての全国調査、日本看護倫理学会誌、15 巻、1 号 13-20、2023
2. 大西香代子・有江文栄・箕輪千佳：研究倫理審査委員による看護学研究の倫理審査に関する認識と課題、日本看

護倫理学会誌、14 卷、1 号 21-27、2022

3. 大西 香代子、箕輪 千佳、有江 文栄：倫理審査を受けた看護学研究者の倫理審査委員会とその審査に対する思い. 日本看護倫理学会誌、13(1)、14-21、2021.
4. 箕輪千佳、鈴木恵理、柿澤美奈子、鈴木弘子：看護実践にリラクゼーション法を取り入れる際の課題—第 38 回日本看護科学学会学術集会 交流集会の報告一、高崎健康福祉大学紀要、19、159-168、2020.
5. 小坂橋喜久代、柳奈津子、近藤由香、岡田朱民、内山美枝子、箕輪千佳、荒木大治、桐山勝枝、定方美恵子、小山敦代：リラクゼーションを基礎教育にどのように位置づけるか. 看護教育、60(10)、852-857、2019
6. 小坂橋喜久代、岡田朱民、柳奈津子、内山美枝子、近藤由香、箕輪千佳、荒木大治、桐山勝枝、小山敦代、定方美恵子：看護管理者に知ってほしいリラクゼーション法とその活用. 看護管理、28(12)、1096-1101、2018.
7. Chika Minowa and Kikuyo Koitabashi : The effect of autogenic training on salivary immunoglobulin A in surgical patients with breast cancer: a randomized pilot trial、Complementary Therapies in Clinical Practice、20(4)、193-196、2014.
8. 荒川唱子、小坂橋喜久代、柳奈津子、近藤由香、鈴木恵理、森谷利香、箕輪千佳、片田裕子：Part6. 多様な対象者へのリラクゼーション法の実践例 周術期の乳がん患者、リラクゼーション法入門、179-183、小坂橋喜久代、荒川唱子 編、日本看護協会出版会、2013.
9. Chika Minowa and Kikuyo Koitabashi : Effects of autogenic training on perioperative anxiety and pain in breast cancer patients: a randomized controlled trial、The KITAKANTO Medical Journal、63(1)、1-11、2013.
10. Chika Minowa and Kikuyo Koitabashi : Salivary alpha-amylase activity—an indicator of relaxation response in perioperative patients、Open Journal of Nursing、2、208-214、2012.
11. 箕輪千佳・小坂橋喜久代：自律訓練法が周術期患者の不安と疼痛に及ぼす影響、日本看護技術学会誌、10(2)、30-39、2011.

【文部科学省科学研究費：研究代表者のみ】

- ・看護教育におけるジェンダーバイアス尺度開発による国際比較とその解消の方策構築（基盤研究(C) 22K10712)
- ・慢性疾患患者のうつ病予防のためのメンタルヘルスケアプログラムの開発と評価（基盤研究(C) 17K12232)
- ・外来がん患者の不眠に対する自律訓練法の効果（基盤研究(C) 26463360)
- ・自律訓練法がもたらす周術期患者のリラクゼーション効果（基盤研究(C)23593271)